

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「欧州ハイ・イールド債券オープン（毎月決算型）円コース」は、このたび、第174期の決算を行いました。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的にユーロ建て高利回り社債等に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第174期末(2025年7月18日)

基準価額	4,308円
純資産総額	1,970百万円
第169期～第174期	
騰落率	1.2%
分配金(税引前)合計	105円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、SBI岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

欧州ハイ・イールド債券 オープン(毎月決算型) 円コース

追加型投信/海外/債券

作成対象期間：2025年1月21日～2025年7月18日

交付運用報告書

第169期(決算日2025年2月18日) 第172期(決算日2025年5月19日)

第170期(決算日2025年3月18日) 第173期(決算日2025年6月18日)

第171期(決算日2025年4月18日) 第174期(決算日2025年7月18日)

SBI 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

ホームページ <https://www.sbiokasan-am.co.jp>

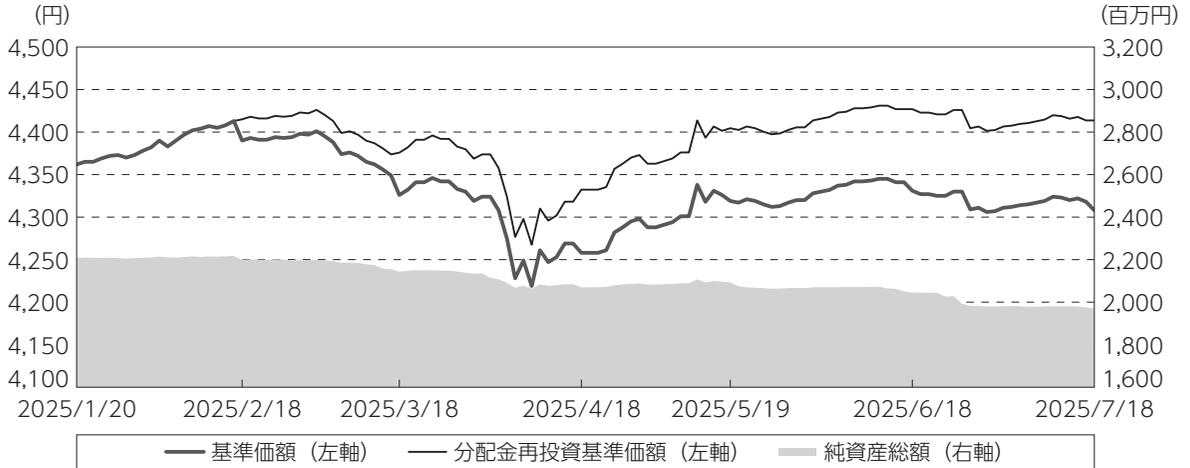
■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ
03-3516-1300 (受付時間：営業日の9:00～17:00)

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2025年1月21日～2025年7月18日)



第169期首：4,362円

第174期末：4,308円 (既払分配金(税引前):105円)

騰落率：1.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2025年1月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動する成果を目指した運用を行っておりません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

主要投資対象である「DWS ユーロ・ハイ・イールド・債券・マスター・ファンド(円)」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・ 高い利回りへの旺盛な需要を受けて、欧州ハイ・イールド社債市場が堅調に推移したことがプラス要因となりました。
- ・ 保有債券の利息収入の獲得がプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・欧州の長期国債利回りの上昇がマイナスに影響しました。
- ・ユーロ売り円買いによる為替ヘッジコストがマイナスに影響しました。

1万口当たりの費用明細

(2025年1月21日～2025年7月18日)

項 目	第169期～第174期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	22	0.502	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(9)	(0.216)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(12)	(0.270)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.006	(b) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	22	0.508	
作成期間中の平均基準価額は、4,339円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

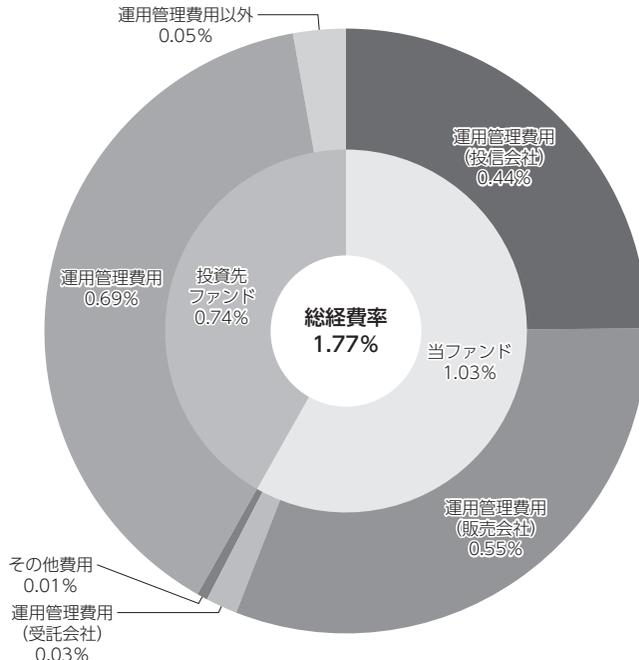
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.77%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	1.77
①当ファンドの費用の比率	1.03
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.69
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.05

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年7月20日～2025年7月18日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様ご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2020年7月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2020年7月20日 期初	2021年7月19日 決算日	2022年7月19日 決算日	2023年7月18日 決算日	2024年7月18日 決算日	2025年7月18日 決算日
基準価額 (円)	6,003	5,980	4,737	4,596	4,458	4,308
期間分配金合計(税引前) (円)	—	600	600	350	300	255
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	9.9	△ 11.6	4.5	3.6	2.4
純資産総額 (百万円)	5,528	5,798	3,837	3,074	2,459	1,970

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動する成果を目指した運用を行っておりません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

投資環境

(2025年1月21日～2025年7月18日)

<欧州国債市場>

国債市場では、主要な指標となるドイツの10年国債利回りが上昇（債券価格は下落）しました。ドイツの財政規律の緩和や欧州中央銀行（ECB）の利下げサイクルの一時停止観測などを背景に、長期ゾーンは売りが優勢となりました。また、トランプ米大統領による関税措置を巡る報道等も、米国の関税が欧州経済に影響を及ぼすとの見方から、利回りの変動要因となりました。

<欧州ハイ・イールド社債市場>

欧州ハイ・イールド社債市場は、上昇しました。米国の関税政策を巡って市場が変動する局面もありましたが、高い利回りを求める投資資金の流入を背景に、スプレッド（国債との利回り差）が縮小したこともあり、全般には堅調な動きとなりました。また、ユーロ圏のインフレ率の鈍化や景気減速観測等を背景に、ECBが利下げを継続したことも、欧州ハイ・イールド社債市場の上昇要因となりました。

<国内短期金融市場>

国内短期金融市場では、日銀による早期追加利上げへの観測が強まるなか、2025年1月には実際に追加利上げが実施されたことなどを受けて、1年国債利回りは3月にかけて大きく上昇しました。その後、4月上旬のトランプ米政権による相互関税の発動などを背景に、利回りは一時的に上昇幅を縮小する場面も見られました。しかし、7月の参議院選挙で与党が過半数を割り込むとの見方が強まったことを背景に財政拡大リスクが意識されたことなどから、1年国債利回りは再び上昇基調となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2025年1月21日～2025年7月18日)

「DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド (円)」と「マネー・リクイディティ・マザーファンド」の各投資信託証券を主要投資対象とし、「DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド (円)」につきましては、組入比率を高位に維持しました。

○DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド (円)

ユーロ圏のインフレ鈍化を背景としたECBの利下げや、ドイツでの財政規律の緩和が、域内の経済や企業業績を下支えすると見られましたが、トランプ米政権による関税の影響を受ける企業が想定されたこともあり、幾分慎重なスタンスでポートフォリオを構築しました。セクター別では、ディフェンシブ性の高い電気通信サービスや公益、ヘルスケアのほか、グローバルに展開する企業の多い素材セクターを高め配分としました。格付け別では、相対的に割安感が見られるB格を市場割合に対して多めに組み入れました。ユーロ圏経済の先行き不透明感等を背景に相場が弱含んだ局面では、割安感の見られる既発債を購入しました。また、相場の上昇局面においては、一部で利益を確定するなどの売却を行いました。加えて、魅力的な利回り水準で発行された新発債への投資も実施しました。

ユーロ建て資産については、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

○マネー・リクイディティ・マザーファンド

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とした運用を行いました。当作成期間中は、国債および政府保証債を組み入れました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年1月21日～2025年7月18日)

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

分配金

(2025年1月21日～2025年7月18日)

当作成期の分配金につきましては、分配方針に則り、分配可能額、基準価額水準等を勘案して、以下のとおりいたしました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項 目	第169期	第170期	第171期	第172期	第173期	第174期
	2025年1月21日～ 2025年2月18日	2025年2月19日～ 2025年3月18日	2025年3月19日～ 2025年4月18日	2025年4月19日～ 2025年5月19日	2025年5月20日～ 2025年6月18日	2025年6月19日～ 2025年7月18日
当期分配金	25	25	25	10	10	10
(対基準価額比率)	0.566%	0.575%	0.584%	0.231%	0.230%	0.232%
当期の収益	17	14	14	10	10	5
当期の収益以外	7	10	10	—	—	4
翌期繰越分配対象額	5,734	5,723	5,713	5,720	5,726	5,722

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率は異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

「DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド (円)」と「マネー・リクイディティ・マザーファンド」の各投資信託証券を主要投資対象とし、「DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド (円)」につきましては、組入比率を高位に保つことを基本とします。

○DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド (円)

(投資環境の見通し)

欧州では米国からの追加関税による景気の下押し圧力が見込まれますが、インフレ鈍化による個人消費の回復や、ドイツによる国防・インフラ関連支出の拡大等が、欧州経済を下支えすることも想定されます。こうしたなか、国債市場については、ECBの追加利下げ観測が利回りの低下要因となる一方、ドイツの財政拡大等が利回りの上昇要因となり、全般には横ばい推移となることを予想します。

欧州ハイ・イールド社債市場については、米関税動向、主要国の金融政策を巡る憶測、各企業の業績や格付け動向、デフォルト（債務不履行）率等を材料に、今後も変動率（ボラティリティ）が高まる場面はあると思われます。ただ、引き続き高い利回り水準が投資妙味となって資金流入が続き、全般には市場が下支えされる展開となることを見込んでいます。

(運用方針)

各企業のビジネスモデルや、バランスシート、バリュエーションに注目し、銘柄を選別していく予定です。格付け別では、相対的な割安感が引き続き見られるB格を選好する方針です。

ユーロ建て資産については、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

○マネー・リクイディティ・マザーファンド

(投資環境の見通し)

国内短期金融市場は、日銀による追加利上げ観測が残ることから、1年国債利回りには上昇圧力がかかる展開を想定しています。

(運用方針)

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益確保を目的に運用を行います。

お知らせ

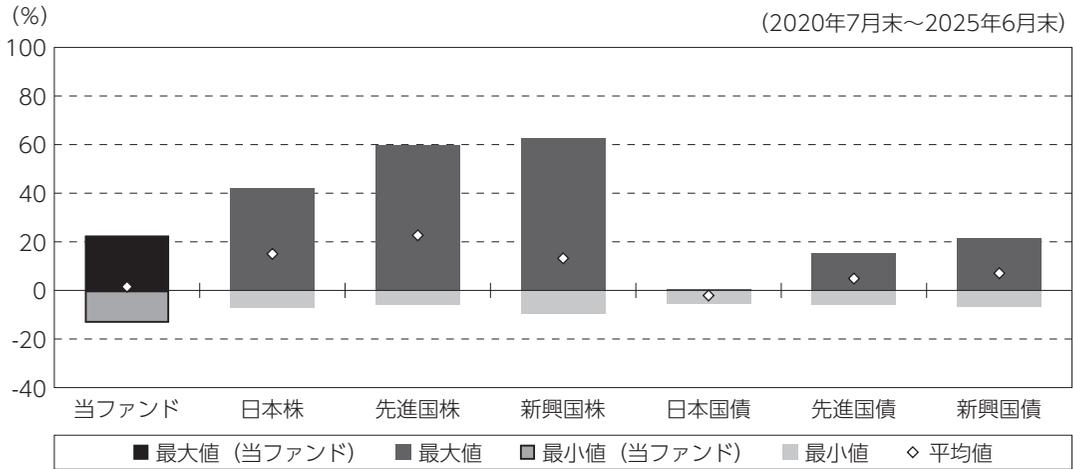
- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款の記載変更を行いました。(実施日：2025年4月1日)
2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2011年1月28日から2031年1月17日までです。	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、実質的にユーロ建て高利回り社債等に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	・DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド (円) ・マネー・リクイディティ・マザーファンド
	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド(円)	・ユーロ建ての高利回り社債等 ユーロ建て資産については、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。
	マネー・リクイディティ・マザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
運用方法	DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンドは、主に欧州諸国のユーロ建てのハイ・イールド債券等に投資し、高水準のインカム・ゲインの獲得とファンド資産の中長期的な成長を目指します。投資対象には、ユーロ圏以外の国・地域の企業が発行する債券等も含まれます。ユーロ建て以外の資産へ投資を行う場合は、当該ユーロ以外の通貨売り、ユーロ買いの為替取引を行うことを原則とします。	
分配方針	毎月18日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 繰越分を含めた配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	22.6	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	△ 13.3	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 5.5	△ 6.1	△ 7.0
平均値	1.5	15.0	22.7	13.2	△ 2.1	4.9	7.1

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年7月から2025年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

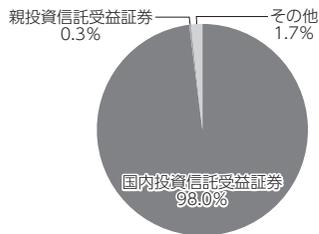
組入資産の内容

(2025年7月18日現在)

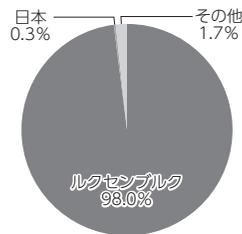
○組入上位ファンド

銘柄名	第174期末
	%
DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド(円)	98.0
マネー・リクイディティ・マザーファンド	0.3
組入銘柄数	2銘柄

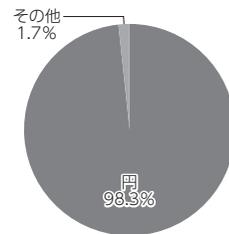
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注) 国内投資信託受益証券には外国籍(円建て)の投資信託受益証券を含めております。

純資産等

項目	第169期末	第170期末	第171期末	第172期末	第173期末	第174期末
	2025年2月18日	2025年3月18日	2025年4月18日	2025年5月19日	2025年6月18日	2025年7月18日
純資産総額	2,199,977,382円	2,143,279,751円	2,069,737,432円	2,092,672,047円	2,045,555,496円	1,970,146,218円
受益権総口数	5,011,404,192口	4,954,839,377口	4,860,943,583口	4,844,985,117口	4,723,213,095口	4,573,360,964口
1万口当たり基準価額	4,390円	4,326円	4,258円	4,319円	4,331円	4,308円

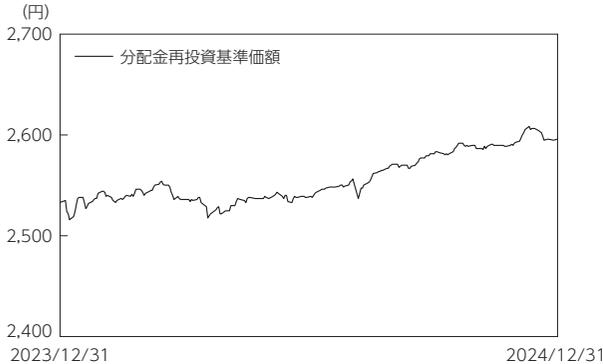
(注) 当作成期間(第169期~第174期)中における追加設定元本額は11,575,029円、同解約元本額は499,678,233円です。

組入上位ファンドの概要

DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンド (円)

※DWS インベストメントGmbHのデータを基に、SBI岡三アセットマネジメントが作成し掲載しております。

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2024年1月1日～2024年12月31日)

当ファンドにおける1万口当たりの費用の明細に関する情報がないため、開示できません。

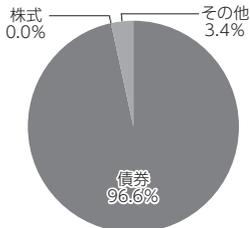
以下は、DWS ユーロ・ハイ・イールド・ボンド・マスター・ファンドの状況です。

【組入上位10銘柄】

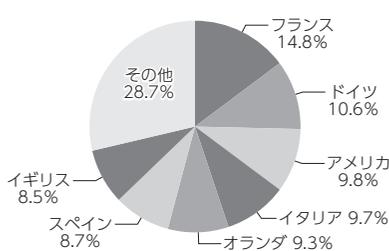
(2024年12月31日現在)

銘柄名	通貨	国(地域)	比率
1 Bayer AG 2022/2082	ユーロ	ドイツ	1.1%
2 Summer BC Holdco B SARL -Reg- (MTN) 2019/2026	ユーロ	ルクセンブルク	1.0%
3 Electricite de France SA 2020/perpetual	ユーロ	フランス	0.9%
4 Electricite de France SA (MTN) 2013/perpetual	英ポンド	フランス	0.9%
5 Consolidated Energy Finance SA (MTN) 2021/2028	ユーロ	スイス	0.9%
6 Verisure Midholding AB -Reg- (MTN) 2021/2029	ユーロ	スウェーデン	0.8%
7 IQVIA, Inc. (MTN) 2020/2028	ユーロ	アメリカ	0.7%
8 Nitrogenmuvek Vegyipari Zrt -Reg- (MTN) 2018/2025	ユーロ	ハンガリー	0.7%
9 Lorca Telecom Bondco SA -Reg- (MTN) 2020/2027	ユーロ	スペイン	0.7%
10 Teva Pharmaceutical Finance Netherlands II BV (MTN) 2021/2027	ユーロ	イスラエル	0.7%
組入銘柄数			346銘柄

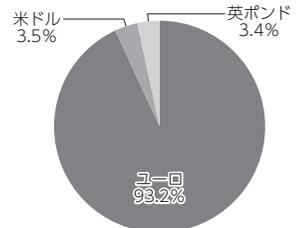
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 組入上位10銘柄、資産別配分の比率は、純資産総額に対する割合です。国別配分、通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

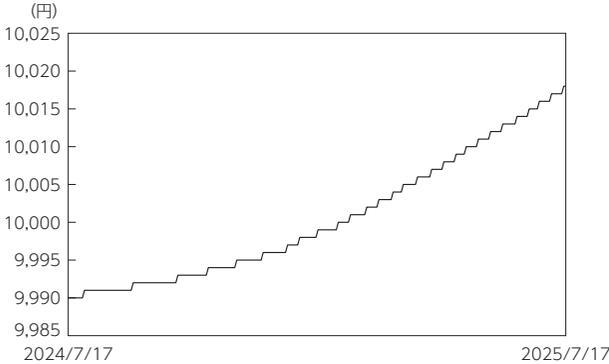
(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

マネー・リクイディティ・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2024年7月18日～2025年7月17日)

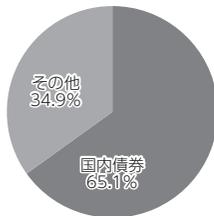
該当事項はございません。

【組入上位10銘柄】

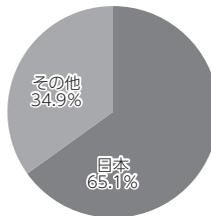
(2025年7月17日現在)

	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国(地域)	比率
1	第261回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	特殊債券	円	日本	11.3%
2	第256回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	特殊債券	円	日本	11.3%
3	第254回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	特殊債券	円	日本	9.9%
4	第1316回国庫短期証券	国債証券	円	日本	9.9%
5	第1303回国庫短期証券	国債証券	円	日本	8.5%
6	第258回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	特殊債券	円	日本	8.5%
7	第79回政府保証地方公共団体金融機構債券	特殊債券	円	日本	5.7%
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数			7銘柄		

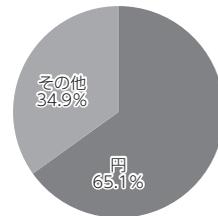
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国(地域)および国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書(全体版)をご覧ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○NOMURA – BPI 国債

NOMURA – BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

○JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。